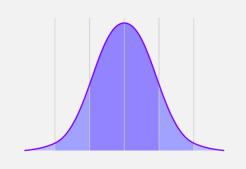
令和7~8年度:食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠

## 病原微生物のばく露評価に資する日本国内データベースの構築



リスクプロファイル ハザードの情報整理



ばく**露評価** 汚染濃度の推定

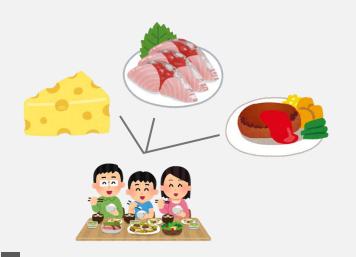


ハザードやリスクの比較 対処する優先順位の選定



北海道大学大学院 農学研究院 食品加工工学研究室 准教授 小山健斗

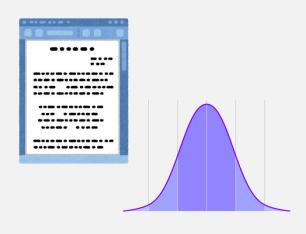
### 背景:微生物学的な汚染に対するリスク評価



**喫食する食品** 微生物の汚染の可能性



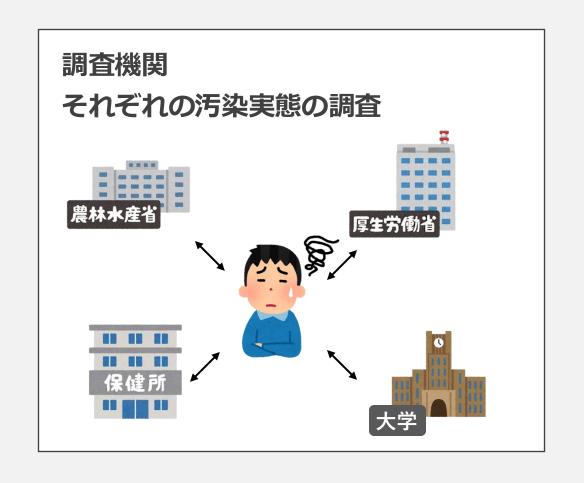
**健康被害リスク** 確率と重篤度



**リスクの科学的な判定** 数値データに基づく

- □ 体系的なデータから、合理的な結論を出す必要がある
- □ 社会的な背景にも影響を受けるため、逐次情報を更新する必要がある

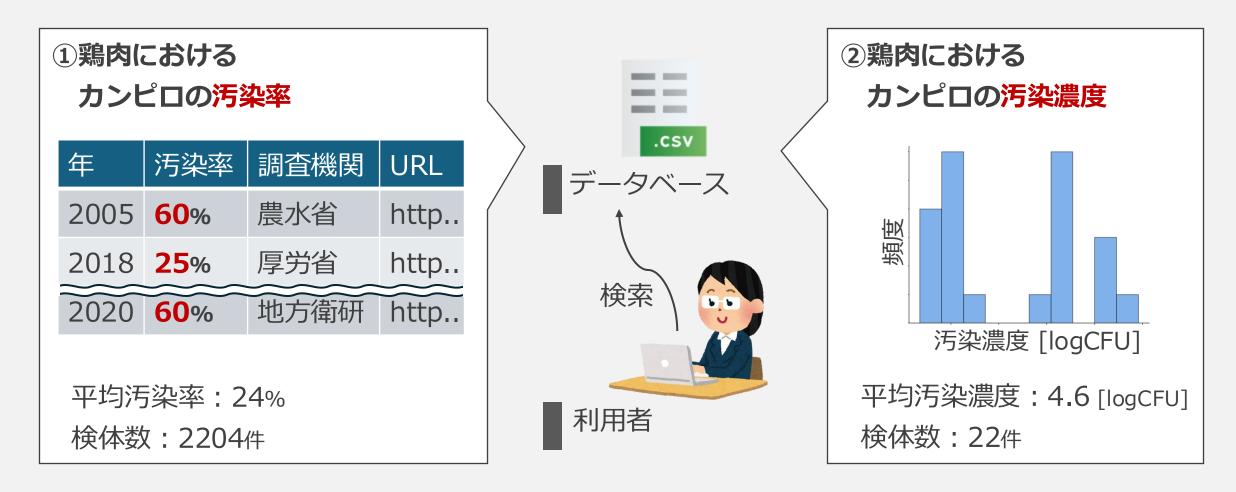
### 背景: ちらばっている過去の検体データ





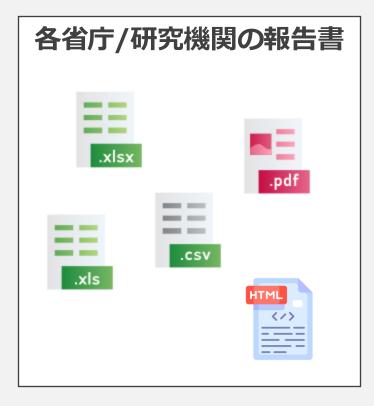
- □ 微生物汚染の定量データが断片的に存在し、集約されていない
- □ データを集める作業に負荷が大きく、迅速かつ網羅的な評価が難しい

### ■目的:汚染データを一元的に集約&データベース化



- □ 病原微生物の汚染率・汚染濃度などの定量データを検索・可視化
- □ 利用者は必要なデータをすぐに取得し、ハザードの特定やリスク評価に集中

## 方法:過去25年のデータの収集と可視化システム構築







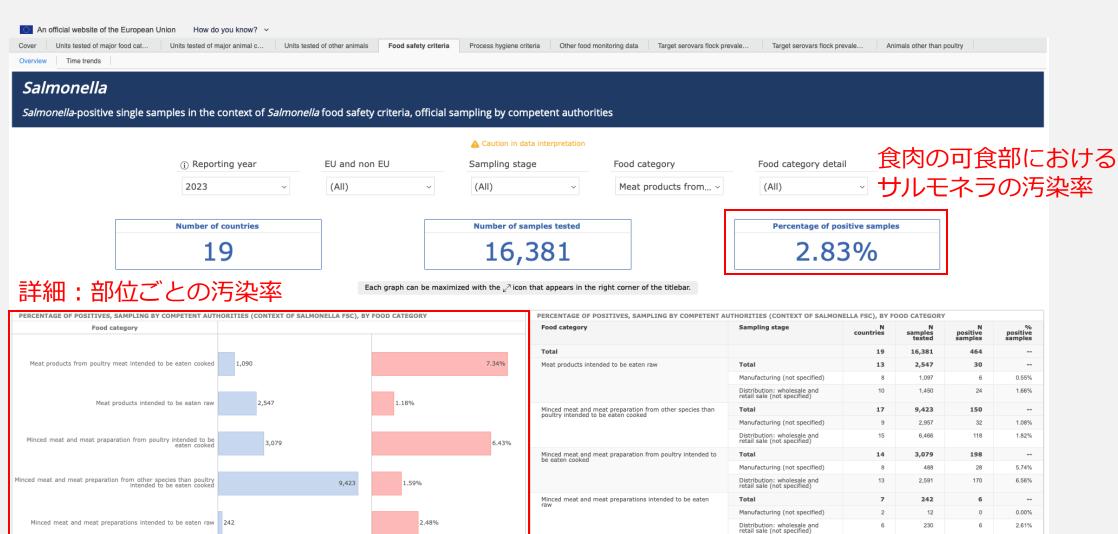
- □ 行政報告書・学術論文・省庁の統計から汚染実態のデータを収集
- □ 病原微生物の汚染率と汚染濃度の生データ&統計データの見える化

## EUでのデータ・ベースの例

2.000 4.000 6.000 8.000

Number of samples tested

Percentage of positive samples



Meat products from poultry meat intended to be eaten cooked

1.090

406

Manufacturing (not specified)

Distribution: wholesale and retail sale (not specified)

6.87%

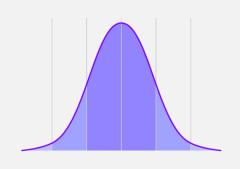
8.13%

33

# 期待される成果:現実的な国内データに基づく評価



リスクプロファイル ハザードの情報整理



ばく**露評価** 汚染濃度の推定



ハザードやリスクの比較 対処する優先順位の選定

- □ 定量データをベースにするため、リスク分析と評価の精度と信頼性が向上
- □ 行政・大学・研究所間の情報共有により、事故発生前から先取りの対応へ

展望:長期的なデータベースの運用



データベース 変更履歴の公開



**プログラミング** コードの全公開



システムの運用 公的機関に移管

- □ "使い捨て"にせず、**10年間以上の運用**が可能な基盤を目指す
- □ 試作中のデータベースに96,241検体の汚染率調査を集録

URL: <a href="https://github.com/kento-koyama/food\_micro\_data\_risk">https://github.com/kento-koyama/food\_micro\_data\_risk</a>



試作データベース

#### ▼ スマートな数値データの整理と共有は、先取り型のリスク評価基盤

- ☑ 汚染濃度・汚染率のデータ共有により実現すること
  - ・迅速かつ網羅的な抜けのない定量的なリスク評価
  - ・各流通ステージにおける微生物の汚染濃度の正確な推定
  - ・対処すべきハザードやリスクの優先順位を見える化

